

1. 次の英文を和訳せよ。

Japan has been over-banked, and the Ministry of Finance often has taken steps to try to reduce the number of financial institutions, especially the smaller ones. Market forces have now given impetus to the process. As the need for banks traditionally defined declines, it is reasonable to expect significant consolidation. This was a common prediction by the early 1990s, and proved to be premature then, but the decade closed with plans for mergers or other combinations involving most of the major banks (including those of the major keiretsu). The smallest financial institutions (*shinkin* and co-ops) have been disappearing steadily for decades.

(Takeo Hoshi and, Anil K. Kashyap, 2001, "Corporate Financing and Governance in Japan: The Road to the Future" MIT Press, p.325)

注：*shinkin*: 信用金庫、co-ops: 信用組合

2. 次のマクロ経済学に関する ~ の記述について、正しい場合は、間違っている場合には×をつけて答えよ。また、誤っている×の記述について、その理由を簡単に答えよ。

投資の利子弾力性が低いほど、IS曲線の傾きは緩やかになる。

ハイパワード・マネー(マネタリー・ベース)には、現金通貨と預金通貨が含まれる。

「流動性のわな」に陥っている状況では、マネーサプライを増加させても利率は低下しない。

45度線分析において、均衡予算乗数は1だから、均衡予算を前提に政府支出を増やしても、国内総生産(GDP)は全く増加しない。

名目利率が1%で、期待インフレ率がマイナス2%であるとき、実質利率はマイナス1%である。

国内純生産は、国内総生産よりも通常は小さい額となる。

3. 2つの消費財(私的財)AとBがあり、それを消費することにより効用を得る消費者がいたとする。財Aの消費量を x_A 、財Bの消費量を x_B として、この消費者の効用関数が

$$U(x_A, x_B) = x_A x_B$$

と表されるとする。この消費者は320の所得を持っている。いま、財Aの価格が5で、財Bの価格が8であるとする。このとき、この消費者にとって各財の最適な消費量はそれぞれ何単位か答えよ(ヒント: 答えは必ず整数となる)。

注意: 答案用紙には、途中の計算過程も残しておくこと(きれいに書いていなくてもよい)。正解と異なっていた場合には、計算過程の内容が重要になる。

4. <この問題は、時間に余裕がある場合に限り解答してもよい；解答しないからといって減点にはしない>

ある閉鎖経済（輸出入がない経済）において、消費関数が

$$C = 100 + 0.75(Y - T)$$

ただし、C: 民間最終消費支出、Y: GDP、T: 租税（収入）

と表され、投資関数が、

$$I = 200 - 1000r$$

ただし、I: 投資（固定資本形成）、r: 利子率

と表され、貨幣需要関数が

$$L = 3Y - 1000r$$

ただし、L: 貨幣需要

と表されるとする。いま、政府が所得税のみを、

$$T = 0.2Y$$

となるように課税して、その租税収入と財政支出 G が均衡するように財政運営を行ったとする。また、中央銀行は、貨幣供給を 3700 だけ行ったとする。

このとき、マクロ経済において実現する GDP と利子率の水準はいくらになるかを答えよ。

注意：答案用紙には、途中の計算過程も残しておくこと（きれいに書いていなくてもよい）。正解と異なっていた場合には、計算過程の内容が重要になる。